

平成23年度学内版 GP 成果報告書

取組名	地域づくりを牽引する技術者育成教育 ー技術者の複眼的感性涵養のための「まち」なかキャンパスー
実施組織	工学部
実施責任者	土本 俊和
取組の目標	文化資源が豊富な須坂市を現場として、地域の文化に関する造詣と地域のニーズをふまえて新たな知を創造することができる、地域づくりを牽引する技術者を育成する教育プログラムを構築する。
1. 目標達成のために行った活動と成果 (箇条書きで項目ごとに番号を付けて記載。成果の詳細は必要に応じて別添とする)	①講義 講義題目:【3 年次生対象・後期開講必修科目】 建築設計製図第 4「街区の再生」・「民家の再生」 須坂市における歴史的建造物と歴史的市街区の再生案を提案した。須坂市(旧上高井郡役所)にて計 10 回の講義を行った。2 月 18 日には市民公開講評会(須坂市商工会館)を開催した。 講義題目:【2 年次生対象・後期開講必修科目】 建築設計製図第 2「住宅の設計」 須坂市内の敷地に 3 人家族用の住宅を提案した。1 月 13 日から 1 月 24 日の期間、須坂市(旧上高井郡役所)にて、成果物(設計図面)の展示会を開催した。 ②調査・研究 研 究:伝統的建具の寸法評価(期間:通年) 須坂市内の施設の和室を利用して、伝統的建具に対する人間の評価と寸法との関係を考察した。
2. 目標達成度に関わる所見と今後の展望	本年度までの取り組みでは、講義の課題で実際の敷地を設定していたものの、課題の内容は仮定のものであった。平成24年度からは、須坂市の様々な事業と連携して実際の課題を設定し、実質的な現場での教育を進める。